

# 平成25年度 佐渡市家庭科部 活動報告

部長 齋藤 千賀子 (金井小学校)

## 1 研修の方針

県小教研指定で23年度から研究を進めてきた赤泊小学校の3年次の研修に参加する。研究テーマである「自分の思いや考えを進んで表現し、かかわり高め合う子どもの育成～言語活動の充実を通して～」に基づく授業研究を通して、家庭科の指導力向上を図る。

## 2 研修内容

### (1) 指導案検討会・新教育課程研究集会伝達講習

① 日時 8月8日(木) 9時30分～12時

② 主な内容

研究会での公開授業の指導案検討会では、本時の展開の流れやねらいにせまるための授業者の手立てを中心に協議した。

続いて平成25年度教育課程研究集会についての伝達講習を行った。両尾小学校、能村利栄子教諭からは、平成21年度からの指導内容の概要や、赤泊小学校の研究テーマにもなっている家庭科と言語活動の充実について説明いただいた。また、加茂小学校、山本隆子教諭からは、新発田市立加治川小学校、河村紋子先生の実践「実験や発表方法の工夫により課題解決を図る家庭科学習」について説明いただいた。

学習指導要領の改訂において、言語活動の充実が各教科を貫く改善の視点として位置づけられた。赤泊小での取組や両教諭の説明を受け、家庭科においては、実習や観察などの実践的・体験的な活動や問題解決的な学習を通して言語活動を充実させていくことが大切なことを共通理解できた。

### (2) 新潟県小学校教育研究会指定研究事業

#### 平成25年度 家庭科研究大会

① 日時 11月15日(金) 13時～16時20分

② 題材名 「工夫しよう暖かな生活」  
～ビフォー・アフター冬の住まい編～

③ 授業者 風間 薫 教諭

④ 指導者 県立教育センター指導主事  
佐野 由美子 様

⑤ 主な内容

本時のねらいは「既習事項を生かして冬の住生活の工夫を考え、グループの話し合いを通して、生活への実践意欲をもつことができる」であった。そして、授業者の手立ては次の3点であった。

- ・提案書や話し合いの際の根拠となる実験データ等を掲示する。
- ・実践意欲をもたせるために提案書を作成し、それをもとに話し合う。
- ・前時の活動で各自の問題点や間取りを説明し、話し合う土台を作っておく。

授業協議会は7名ずつの小グループで行われた。研究テーマや授業者の手立てとかかわった協議題について各グループとも活発な話し合いがされていた。

協議会後の全体指導では、佐野指導主事から、暖かな生活を工夫する上で新潟県の気候風土を考える必要があったこと、また、学び合いの意義や課題について御指導があった。



## 3 成果

昨年度から赤泊小学校の研修に参加させていただいてきた。小中家庭科の題材の中で定着させたい言葉を明らかにした学びの系列表の作成。そして、それらの言葉を実感を伴って理解させるための体験や教材教具の工夫。問題解決的な学習を通して自ら考えたり伝え合ったりする活動など、家庭科における言語活動の充実と具体的な手立てについて、赤泊小学校の実践から多くのことを学ぶことができた。

